

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	208	1年	前期	看護学科	必修	基礎看護学実習Ⅰ Clinical Practice in Fundamental NursingⅠ	45	1
担当教員								
徳永 なみじ	田中 美延里	野本 百合子		香川 里美		北川 恵	谷本 淳子	
森 敬子	長尾 奈美							
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
保健医療福祉の多様な場（病院・高齢者施設・大規模事業場）における看護の対象の特性と看護職の活動の実際を知り、看護職の機能と役割について理解する。								
到達目標（授業目標）								
1 保健医療福祉の多様な場（病院・高齢者施設・大規模事業場）における看護の対象の特性を述べることができる。								
2 保健医療福祉の多様な場（病院・高齢者施設・大規模事業場）における看護職の活動の実際を述べることができる。								
3 実習での様々な体験を共有し、看護職の機能と役割を考えることができる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								

授業概要	<p>1 実習場所            病院：県立中央病院、伊予病院            高齢者施設：介護老人福祉施設味酒野でいれぎ荘            高齢者総合福祉施設ガリラヤ荘・ガリラヤ久米            大規模事業場：東芝Eiコントロールシステム株式会社、花王サニタリープロダクツ愛媛</p> <p>2 実習期間 5日間</p> <p>1日目：実習初エンゲージ、2-4日目：病院・高齢者施設・大規模事業場、5日目：体験交換会</p> <p>3 実習展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院（医療分野）、高齢者施設（福祉分野）、大規模事業場（産業保健分野）における対象者とのコミュニケーション、または講義・見学をとおして、対象者の日常生活や健康上の課題を理解する。</li> <li>・各実習場における看護場面の見学、または講義・施設見学・グループワーク等から看護活動の実際を学び、生活や健康上の課題に対応した看護について学ぶ。大規模事業場実習では、予防活動に重点を置き、産業保健師による健康診断後の保健指導および職場全体で取り組む健康づくりの事例紹介を含む。</li> <li>・各実習場での個々の体験やグループの体験を共有し、看護職の機能と役割を考える。</li> </ul> <p>*詳細は実習要綱に示す。</p>								
	成績評価方法及び基準								
実習評価表（実習目標の達成度80%、実習態度20%）にもとづき評価する。トータル60点以上を合格とする。									
教科書	茂野香おる・長谷川万希子・林千冬「系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔1〕 看護学概論」医学書院 任和子他「系統看護学講座-基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ」医学書院 任和子他「系統看護学講座-基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ」医学書院								
参考図書等	適宜紹介する								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
実習開始前には、各援助論で学んだ技術を復習する。 実習での体験をまとめる際は、必要な文献を検索・活用して考察を深める。									
関連科目									
前科目	201	看護学概論	203	基本援助技術論	204	生活援助技術論Ⅰ			
後科目	205	生活援助技術論Ⅱ	206	診療援助技術論	240	看護アセスメントⅠ			
実務家教員									
看護師（医療機関）	徳永 なみじ	野本 百合子	香川 里美	北川 恵	谷本 淳子	森 敬子			
保健師（行政機関）	田中 美延里								
保健師（職域保健）	長尾 奈美								
備考									